

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4071101846		
法人名	有限会社 であい		
事業所名	グループホーム であいの郷 長住		
所在地	〒811-1362 福岡県福岡市南区長住6丁目7番29号		092-512-2562
自己評価作成日	平成28年01月14日	評価結果確定日	平成28年03月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

毎月の公園掃除をきっかけに地域行事への参加や地域の方との交流が増えてきた利用者様のペースや意思を大切にスタッフは利用者様に合わせられている外部研修や試験に積極的参加が出来る様になってきた

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「であいの郷 長住」は、郊外の閑静な住宅街の中に民家改造型の、1ユニットで定員6名のグループホームである。「子ども110番」に登録し、子供達が何時でも立ち寄れる事業所として開放し、町内の行事(地域の夏祭り、防災訓練、清掃活動、お月見会)に、利用者と職員が参加し、地域交流の輪が広がっている。法人内保育園から園児が毎月来訪し、歌や踊りを披露して貰い、利用者の楽しみな時間として、利用者が自分を取り戻す瞬間でもある。毎週往診のホームドクターと訪問看護師、介護職員が協力して、充実した医療連携体制を整え、ターミナルケアに備えている。また、職員は冷蔵庫の食材を見て、その日の献立を利用者と一緒に考え、テーブルを囲んで一緒に食事する様子は楽しそうで、ほとんどの利用者が完食し、利用者一人ひとりの健康の源として取り組み、家族の信頼が厚いグループホーム「であいの郷 長住」である。

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/40/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 北九州シーダブル協会		
所在地	福岡県北九州市小倉北区真鶴2丁目5番27号		093-582-0294
訪問調査日	平成28年03月25日		

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
58	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	65	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)
59	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	66	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)
60	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
61	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
62	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
63	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	70	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
64	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:30)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Alt+) + (Enter+) です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	次のステップに向けて期待したい内容
			実践状況	実践状況	
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念は作ってはいませんが、職員も公園掃除や地域行事に参加する機会が増え、地域との繋がりの必要性、大切さが見えてきております	法人理念とホームが目指す介護のあり方を示した目標、「利用者さんの気持ちを尊重し、その人らしい生活をまっとう！」を掲げ、毎日の申し送り時に出勤職員で唱和して、職員一人ひとりが理念の意義を理解している。1ユニット6名の家庭的でゆっくりと流れる時間の中で、その人らしい生活が送れるように支援している。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎月公園の掃除に参加し、その他地域のイベントに参加出来る限り参加しております(花見・町内避難訓練)	地域の夏祭り、お月見会、防災訓練等に、職員は利用者と一緒に参加している。また、月1回の公園清掃、その後のお茶会には管理者も参加し、地域住民と顔繋ぎを行なっている。毎月1回の法人内保育園児との交流は、利用者の大きな楽しみである。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎月公園掃除後のお茶会にて介護の話や介護保険について質問があればお答えしております		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度民生委員さんや町内社協さん自治会長さんいきいきセンターさんに参加して頂き運営推進会議を行いサービス向上に行かせる様努めています	会議は2ヶ月毎に開催し、ホームの運営状況や取り組み、課題を報告し、参加委員からは、質問や要望、地域の情報提供等を受けている。会議の中で得た情報を基に、地域行事へ参加したり、地域の高齢者の状況について話し合う等、会議の内容を活かした取り組みに繋がっている。	会議への参加委員の増員を図り、ホームや地域の課題について柔軟に話し合える環境作りに取り組む事が望まれる。また、会議の内容を詳細に記録出来るように、役割分担し議事録の充実を期待したい。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村主催の研修などは参加させて頂いているが、連絡を密に取り合うまでにはいたっていません	管理者は、行政担当窓口疑問点や困難事例、事故報告を行い、連携が図られている。また、運営推進会議に、地域包括支援センター職員が参加し、ホームの現状を伝え、アドバイスや情報提供を受けて、協力関係を築きホーム運営に反映させている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ベットの囲い込みや施錠による身体拘束をしない様、研修やミーティングで話し必要ない柵は置かないなどの措置をとっています	職員会議や勉強会の中で、身体拘束について学び、具体的な拘束の事例についても話し合い、職員一人ひとりが自覚し、言葉かけや対応に配慮したケアに取り組んでいる。また、玄関の扉は日中は施錠せず、利用者が自由に出入りしやすい環境である。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修も行い、日頃からスタッフへの面談までとはいかないが、コミュニケーションによりストレスがないかや困っている事はないか聞き、虐待防止に努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	6	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	事業所全体で研修会を開催し、必要に応じて家族に説明しております	法人全体の研修会で、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を設け、自己判断が困難になった利用者には、その方が不利益を被らないための支援体制の確立を目指している。職員は、制度の重要性を理解し、資料やパンフレットを用意し、利用者や家族の必要性に応じて説明を行なっている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は十分な説明を行い時間を重ね納得して頂いたうえで、署名・捺印を頂いています		
10	7	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族と電話やメールのやり取りをし、要望やあればその都度言って頂いています。その他、来所時などに職員に伝え、職員間で共有出来る様にしたり、ミーティングにて話し合う様にしています	職員は利用者の要望を日々の関わりの中で聴き取り、家族面会時や食事を兼ねた交流会の時にコミュニケーションを図り、面会が少ない家族とは、電話やメールで頻りに連絡を取り、意見や要望を聴き取り、ホーム運営に反映させている。また、家族には毎月、個別の通信を送り、利用者の暮らしぶりを伝えている。	
11	8	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃より職員の意見や提案を聞きミーティングにて話し合ったり、すぐ実施出来る事は実施する様努めています	職員会議は毎月定期的に行われ、カンファレンスや研修会も兼ねて、時間をかけ実施している。職員の要望やアイデアが活発に提案され、意見交換しながらホーム運営や業務改善に反映させている。また、「今日、ミーティングやって下さい」と、職員から声上がる等、職員の積極的な姿勢が窺える。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	昨年より人事考課を行い自己評価、管理者評価、面談を経て最終評価と評価を付け、職員と会社が話し合える機会を設けています		
13	9	人権尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	募集・採用に関して性別や年齢を理由に採用対象から排除する事はありません。職員個々の能力を発揮できる様に、気になったりした事は何でも言い合える関係性を築き、その意見を職場に反映出来る様努めています	職員の募集は、人柄や意欲的な人材を優先し、年齢、性別、経験の制限はなく採用している。管理者は、職員の特技や能力を把握し、適材適所の勤務体制や役割分担で、職員が生き生きと働ける職場環境を目指している。また、法人全体で、産休、育休制度を設け、安心して働き続けられるよう支援体制を整えている。	
14	10	人権教育・啓発活動 法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	会社全体で研修を行い日々のサービスに繋がる様に努めています	法人全体研修で、人権教育、啓発活動に取り組み、職員一人ひとりが理解して、利用者の人権を尊重した介護の実践に取り組んでいる。また、ホームの目標の中に、「利用者一人ひとりの気持ちを尊重する」と謳い、職員は、常に理念と目標を自覚して、介護サービスの提供に取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	能力にあった研修を勧めたり、全社研修・事業所研修を行って個々の能力を発揮出来る様にし、またその場その場においても注意やアドバイスを行う様にしています		
16		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修などを受け、同業者との交流は持っているがネットワーク作りや勉強会等までは発展できておらず、出来る様努めなければなりません		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
17		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人様の思いなどにじっくり耳を傾け良く話を聞き受け入れ、またコミュニケーションを沢山とる事により信頼関係の構築に努めています		
18		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	会って話すだけでなく、メールや電話でも24時間要望を聞ける様にし関係作りに努めています		
19		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	始めに本人様・ご家族様のご意見を拝見し、何か変更等やこうした方が良いのではと言う考えがある場合はご連絡させていただき、その都度本人様・ご家族様のご意見をとり入れております		
20		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に料理をし、洗濯物をたたみ、一緒にご飯を食べる事を行いたくさんお話し、人間関係構築に努めております		
21		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	お誕生日会や運営推進会議への出席等お願いをし、共に支えていく人間関係構築に努めております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22	11	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	日曜礼拝や行きつけの美容室など家族の協力を得ながら支援に努めています	家族と一緒に馴染みの美容院に出かけたり、友人、知人の面会等、利用者が長年培ってきた人間関係や地域社会との関わりが継続出来るように支援している。また、入居後、親しくなった利用者同士の関係や、交流のあるデイサービスの利用者との馴染みの関係も大切にしている。	
23		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様数名とドライブに出かけたり、相性が悪かったりした場合は席順を変えたり、耳の悪い利用者様との会話には間にスタッフがはいり伝えたりと支援に努めております		
24		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	亡くなった利用者様のご家族様に対し、その後のフォローや心のケアをさせて頂く様努めております		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
25	12	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活空間でのコミュニケーションを大切に希望や要望を聞き出している。また利用者様の可能性をスタッフ一同にて話し合い挑戦している	現在は利用者本人から話を聴く事が出来る状態なので、日常生活の会話の中から、思いや意向を聞き取っている。話を聴く事が困難になった時には、家族に相談したり、職員間で話し合い、思いの実現に向けて取り組んでいる。「抹茶が好きだった」という家族からの情報で、水分摂取が難しかった利用者が、抹茶を好んで飲めるようになった。	
26		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族から直接伺ったり過去個人ファイルに記入されている事を元にお話を広げ聞き出そうとしている		
27		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の利用者様のペースに合わせ、ゆっくり安心出切る様にお手伝いさせて頂いてます		
28	13	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の申し送りや勤務中でもスタッフ間にて話し合える環境や、ミーティングでも全スタッフが意見を言える人間関係があり、良いと思ったことはとりあえず挑戦している	利用者や家族の意見や要望を聞き取り、担当者会議を開き、職員間で話し合い、利用者一人ひとりに合わせた介護計画を短期3ヶ月、長期6ヶ月毎で作成している。また、利用者の状態変化に伴い、家族や主治医と密に連絡を取りながら、その都度見直しを図り、現状に即した介護計画を作成している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送り時に申し送りノートをつけたり個別に記録をつけている		
30		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様にマル投げ等せず、病院受診につき添ったり、車椅子をお貸ししたり、時には直接相談を受け変わりに動く事もある		
31		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	月一回の公園掃除や、地域行事への参加。近所のスーパーへの買い物同行等の支援もさせていただいています		
32	14	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医は近所の協力医の元で見させていただいてますが、主治医専門外の病院受診や定期受診にも同行もしくは支援させて頂いております	利用者や家族と話し合い、かかりつけ医と毎週往診が出来る協力医療機関を選択してもらい、必要に応じて他科受診の支援を行っている。また、法人内事業所の看護師による毎週訪問と協力し、利用者の状態変化に合わせて介護職員、協力医と話し合い、安心できる医療体制を整えている。	
33		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	主治医がとても協力的に声を掛けて下さり、こちらも何か普段と違う事があるとすぐにご相談させて頂いたり、看護士スタッフに相談させて頂いています		
34		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院する時はスタッフも家族と共に同行し病院側への情報提供をさせて頂いています。その他電話での質問等にも対応させて頂いています。		
35	15	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居される時にまず終末期をどうすごされたいかを本人・ご家族様よりアンケート形式で頂き、その時が近づいてきた際にご家族様とスタッフ・主治医にて支援方法を決めさせて頂いております	ターミナルケアについて、契約時に利用者や家族の希望を聞き、ホームで出来る支援について説明し承諾を得ている。利用者の重度化に伴い、家族と段階的に話し合い、主治医も交えて方針を決定し、関係者全員で共有して利用者の重度化に向けた支援に取り組んでいる。今までにターミナルを経験し、職員の意識の高揚に繋げている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	毎月部署研修や会社全体研修を設け緊急時の対応や応急手当や初期対応の訓練を行っております		
37	16	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練や初期消火訓練を人員の少ない夜勤スタッフ中心で行いました。	消防署の協力と指導を得て、年2回の防災訓練を実施している。スプリンクラーを設置し、避難場所を確保し、利用者が安全に避難出来る体制を整えている。また、地域防災訓練に利用者と共に参加し、ハザードマップ作りにも協力しながら、地域との防災協力体制を築いている。	住宅街に立地するホームであるので、日頃から近所の方に対して、非常災害時の協力をお願いする事や、災害時に備えて非常食、飲料水の備蓄が望まれる。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
38	17	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊厳とプライバシー保護の研修を行ったり、言葉使いや声掛けが悪いとスタッフ間で注意しあったりし更なる向上を心がけております	共同生活の中で、利用者のプライバシーの確保は難しいが、職員は、利用者のプライドや羞恥心に配慮して小さな声や、出来るだけ自室に行き話をするようにしている。利用者の個人記録の取り扱いや、職員の守秘義務については、管理者が常に職員に説明し、情報漏洩防止の徹底に取り組んでいる。	
39		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	スタッフが決めるのではなく利用者様に決めて頂く様な声掛けが出来ていると思いますが、あまりに広い質問では利用者様混乱されたり、気分が落ち込んでしまわれる事もありますので、個々の利用者様に合った声かけをさせて頂いております		
40		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の希望全てそのままでは寝たきりや廃用性症候群を起こしかねないので、出切る限りは希望に答えさせて頂き、本人様のペースは壊さぬ様、食器拭きや洗濯たたみ等のお手伝いや、脳トレなどのレクリエーションも選択肢に入れてもらえる様支援させて頂いております		
41		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者様からどっちの服が良い？との返答をしたり、お酒落等に興味のない方にはこちらから何通りか選び最後に利用者様に選んで頂いたりしております		
42	18	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むきや、ゴマすり、食器洗い、食器拭きなどはみなさん定期的にお手伝い頂いております	調理上手な職員が、交代で「鯉節やいりこ」から、出汁を取るこだわりの食事作りに取り組んでいる。利用者の嗜好を聴きながら、冷蔵庫の中身を見て献立を決め、買い物に行くといった普通の家庭のような食事作りをしている。簡単な下拵えや食器拭きは、利用者も一緒にし、テーブルを囲んで利用者と職員が談笑しながら一緒に食べる様子は、アットホームで楽しい食事の時間である。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	主治医からの減塩やカリウム制限等と家族からの要望等を生かし料理提供や食事への声掛けを支援させて頂いております		
44		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後にご自身で歯磨き出切る方には声掛けのみで、出来ない方には入れ歯を外して頂き、スタッフがみがき本人様にはうがいをさせて頂いております。また週一回訪問歯科にて異常がないか検診や洗浄をして頂いております		
45	19	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	日中は1時間半程度でトイレへの声掛けや誘導、夜間は3時間から4時間程度で声掛けや誘導を行い清潔を保てる様に支援させて頂いております。また利用者様の自立に向けパットやリハパンを少しでも減らせる様全スタッフにてミーティングなどで話し合っています	トイレで排泄することを基本とし、職員は利用者の排泄チェック表から、それぞれのパターンを把握し、タイミングを見ながら声掛けや誘導を行っている。また、夜間帯もトイレ誘導を行い、利用者の羞恥心やプライドに配慮した、トイレでの自立に向けた排泄の支援に取り組んでいる。	
46		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動の声掛けは勿論、水分摂取の声掛けも行わせて頂き、改善出来ない時は、ご家族様と主治医にご相談させて頂いております		
47	20	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	全利用者様週2回入浴を目標に声掛けさせて頂いております。その他入浴剤を入れたり、入浴中足マッサージを行ったりと利用者様の要望に合わせて支援させて頂いております	毎日お風呂を沸かし毎日入浴することも可能であるが、現在は、利用者の希望や体調に配慮し、週に2、3回の方がほとんどである。入浴を拒む利用者には、時間をずらし、声掛けに工夫して、無理強いしないで利用者の意向を尊重した入浴の支援を行っている。また、清拭や足浴に変更し、利用者の清潔保持に取り組んでいる。	
48		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	出切る限り昼夜逆転が起きないように支援させて頂いておりますが、日中でもゆっくりベッドで休んでいたり、リビングでお昼寝されたりと、個々の利用者様のペースに合わせて支援させて頂いております		
49		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の目的や副作用について主治医がよく説明していただき、ご家族様から服薬の目標がいららないのでは？と相談うけたり、スタッフが気づいたり主治医に減薬などのご相談もさせて頂いております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯たみをされると落ち着く利用者様やスタッフとコミュニケーションを楽しみにされている利用者様、歌の時間になると目が輝き歌われる利用者様。個々の利用者様に合わせて支援をさせて頂いております		
51	21	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	暖かい時期は毎日の様に散歩を希望される利用者様に付き添ったり、買い物に行きたいと言われる利用者様を車に乗せ買い物に行ったり、ご家族様も馴染みの協会への礼拝へ連れて行ってくださっております	近隣の同一法人のデイサービスに出かけたり、公園の散歩、スーパーへの買い物、ドライブ等、外出には積極的に取り組んでいる。利用者全員と家族、職員と一緒に一泊旅行に出かけたり、家族の協力を得て好きなうどんを食べに行ったり、自宅に一時帰宅する等、利用者の生きがいに繋がる外出の支援に取り組んでいる。	
52		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一緒に買い物へ行ける利用者様と一緒に買い物へ出掛けられますが、出掛けたくないがものは欲しいと言われる場合買い物代行をさせて頂いたりしております		
53		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話がかかってきて本人様とお代わりする事は多いですが、利用者様からかけたいと言われる事がなく、あればいつでも対応させて頂きます		
54	22	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	空調はほぼ一年365日つけて温度管理に注意し、冬場は加湿器をたくさんつけ風邪等に注意しております。又季節感を取り入れる為クリスマスツリーや鏡餅などの飾り物をしたり、こたつをだしたり扇風機を出したりと季節毎に環境整備を行わせて頂いております	民家改造型の家庭的な環境で、1ユニット(定員6名)のホームは、窓際のサンルームに畳が敷かれ、リビングルームには、炬燵式のテーブルが並び、花や利用者の笑顔の写真が飾られて、温かな雰囲気である。台所からは、職員が手際よく進める調理の音や、美味しそうな煮物の匂いが漂い、生活感や季節感を大切にした居心地の良い共用空間である。	
55		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間が狭くなかなか一人になる事は難しいですが、利用者様同士の気の合い様により席を移動させて頂いたり、テーブルを離してみたりと工夫させて頂いております		
56	23	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際は出来るだけ使い慣れた家具等をお持ち頂いております。又本人様が落ち着かれるまでお部屋の配置換えや写真を貼ったりして試行錯誤させて頂いております	日当たりの良い室内に、利用者のお気に入りの机や筆筒、仏壇、テレビ、人形やぬいぐるみ、家族の写真等を持ち込んで、利用者が不自由のない暮らしが出来るように配慮し、安心して寛ぐことが出来る環境を整え、居室の清掃、換気にも気を配り、利用者が安心して居心地良く暮らせる居室となっている。	
57		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの場所が毎回分からない利用者様がいらっしゃる為「トイレ」と書かれたプレートを貼ったり、転倒の可能性が高い利用者様にはセンサーマットを利用させて頂きすぐ駆けつけれる様しております。		